

坂 崎 小 学 校

校長 都 築 孝 明

所在地 幸田町大字坂崎字揚り山 31 番地 電話 62-0115 FAX 62-0197

E-mail sakazaki@town.kota.aichi.jp

校訓

よ い 子
つよい子
かしこい子

校章



業間活動「パワータイム」

1 教育方針

(1) 本校の教育目標

校 訓	め ざ す 子 ど も 像
よ い 子	礼節を重んじ、力を合わせて、心豊かに生活する子 (心)
つよい子	命を尊び、心や体を鍛え、汗を流す子 (体)
かしこい子	学ぶ楽しさを求め、深く考え、自ら学ぶ子 (知)

豊かな心を持ち、目を輝かせて学び、たくましく生きる坂崎っ子の育成



『声が響きわたる坂崎小』

(2) 経営方針

ア 心（徳）・体・知の調和のとれた子どもの育成を図り、教職員と子ども・家庭・地域が信頼し合える学校づくりを目指す。

イ「常に子どもに寄り添い、子どもとともにある」を合い言葉に、教育活動を推進する。

ウ「気づき」「つながり」「ふりかえり」を大切にした教育活動を展開する。

エ 子どもの健やかで豊かな成長を支える環境づくりを進める。

オ 自己研さんに励み、教師としての感性を磨きながら、情熱と人間力・指導力を備えた魅力ある教職員集団を目指す。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 豊かな心をもつ子ども（心：よい子）

豊かに感じ、行動できる子どもの育成

- ・ あいさつと「はい」「ありがとう」「すみません」の言葉を大切にし、教育活動全体で道徳性を養う。
- ・ 子どもの心の壁を振るわす体験活動を意図的・計画的に展開し、感じる心とそれを素直に表現しようとする態度の育成を図る。
- ・ 読書活動や合唱など、文化的活動を充実させ、豊かな感性を育む。

イ たくましく生きる子ども（体：つよい子）

自ら進んで自分を鍛えるたくましい心と体の育成

- ・ 欠席0をめざすとともに、いじめ・不登校の早期発見とその対応に努める。
- ・ 業間活動（パワータイム）に、目標をもって主体的に取り組めるようにする。
- ・ 望ましい食習慣を形成するために、楽しい会食の時間となるよう工夫する。

ウ 目を輝かせて学ぶ子ども（知：かしこい子）

自分の思いが表現できる子どもの育成

- ・ 子どもの眼と心を惹きつけ、夢中になって取り組めるような魅力ある授業づくりに努める。
- ・ 友達の意見を聞いたり、自分の考えを伝えたりして、仲間とかかわり合いながら、意欲的に授業に参加できるよう手だてを工夫する。
- ・ 子どものつぶやきや表情を鋭く感じ取り、指導にいかす教師の感性を磨く。

2 現職教育の研究課題・研究分野

(1) 研究の方針

ア「豊かな心をもち、目を輝かせて学び、たくましく生きる子」の育成をめざし、全教科全領域で魅力ある教材を発掘し、学級全員が楽しく学べるよう、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを心がけ、授業研究を推進する。

イ 確かな学習習慣、生活習慣づくりを学校生活のあらゆる場面で意識させる。

ウ 少人数指導や個別の教育支援をより一層充実させ、子どもが生き生きと楽しく学べる時間になるよう、授業形態や指導法の改善、教材・教具の工夫に努め、学力の向上と定着を図る。

エ 専門職としてふさわしい力量を身につけるための校内研修の充実を図る。

(2) 研究課題

○ 研究主題 「豊かな心をもち、目を輝かせて学び、たくましく生きる子の育成」

ーユニバーサルデザインの視点をいかした、子どもが夢中になる授業づくりー

○ 研究の方法

ア 学級の中でもっとも気になる子どもを意識し、その子どもにとって有効な手立ては、他の多くの子どもにとっても有効であるという発想で授業づくりをする。

イ 授業に「焦点化」「視覚化」「共有化」を取り入れ、子どもたちが楽しく、夢中になって取り組める展開を考える。

ウ 子どもの思いをいかした単元構想を構築し、問題解決型授業の実践をする。

エ 一人一人の子どもが生きる指導・評価のあり方を追究する。

3 教職員構成

名 称	校 長	教 頭	主 幹 教 諭	教 務 主 任	校 務 主 任	教 諭 ・ 講 師	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	事 務 職 員 (主 任)	任 期 付 任 用	県 費 非 常 勤	町 嘱 託 教 員 等	用 務 員	介 助 員	S カ ウ ン セ ラ ー	図 書 館 指 導 員	S サ ポ ー ト ス タ フ	教 職 員 計
人数	1	1	0	1	1	15	1	0	1	1	3	2 (1)	1	1	(1)	1	1	31

4 学級編成状況

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
人 数	47	46	56	67	58	57	7	338
実家庭数	28	12	39	52	58	56	4	249

5 教育課程・日課編成上の特色

- 少 人 数 指 導 確かな学力を定着させるために、全学年算数の授業において行う。
- 通 級 指 導 生活上、学習上で個別の支援を必要とする児童に行う。
- 委 員 会 木曜日 第6時限（不定期）4～6年 常時活動を重視する。
- ク ラ ブ 月曜日 第6時限（不定期）4～6年
- 集 会 活 動 月曜日 8時15分～8時35分（月1回）
- 読 み 聞 か せ 水曜日 8時15分～8時25分
- 読 書 タ イ ム 火・木・金曜日 8時15分～8時25分
- パ ワ ー タ イ ム 毎日 10時15分～10時35分
- 子どものゆとり 15分放課（午前1回） 20分放課（昼休み）

6 その他の特色ある活動

「あいさつ」「思いやり」「自分から」という姿が日常の子どもたちのなかに定着することを目標に、次のような活動を展開する。

(1) 豊かな道徳性の育成を図る体験活動

- ・ 学校田、畑における勤労体験学習
- ・ うさぎの飼育活動
- ・ 「あいさつ運動」「アルミ缶集め」などの児童活動
- ・ 縦割り班による清掃活動や集会活動（全校遊びの重視）
- ・ 地域のお年寄りの方々との交流活動
- ・ 病院の方々との交流活動

(2) 学校、家庭、地域が連携した体験活動

- ・ 地域の人を講師にして実践する学習活動
- ・ 家庭教育学級を中心とした親子活動
- ・ 郷土を見直す、親子ふれあい「学区ウォークラリー」
- ・ 保護者・ボランティアによる読み聞かせ
- ・ 地域の人と連携した里山保全活動

7 PTAの組織（役員・委員の名称及びその人数）

[PTA役員]

会	長	1名
副	会 長	3名
書	記	3名
会	計	2名
母 親 代 表		4名
会 計 監 査		2名
幹 事		4名